

邇摩高校WEBサイト

<https://www.nima.ed.jp/>

会報

# 松 風

発行所

島根県立邇摩高等学校

松 風 会

〒699-2301

島根県大田市仁摩町仁万907

TEL 0854 - 88 - 2220

FAX 0854 - 88 - 4417



松風会会長 大島 淳  
昭和46年3月 普通科第22期卒業

## 「育てることは楽ではない」

松風会の皆様には平素より母校発展のため物心両面のご支援をいただき、有り難うございます。本年も昨年同様宜しくお願いいたします。

昨年は西日本豪雨や大田地域を揺らした早朝の大地震で、かなりの被害ができました。改めて被災された方々に対し心よりお見舞い申し上げます。

さて、もうすぐ平成も終わり、四月一日には新元号が事前公表さ

れます。どんな新しい時代がやって来るのか、期待と不安でいっぱいです。

ところで、二〇一八年の日本スポーツ界は波乱の年でした。パワハラや暴力といった事件が数多く起こりました。未だ解決に至っていない種目もありますが、その大半が指導者へ協会と選手間の問題でした。

人を育てるといことは、口で言うほど簡単ではありません。正



## 総合学科

校長 三島 祐 司

松風会の皆様方には、本校発展のため、物心両面にわたるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本校は、明治三十六年の創立以来、百十五年の歴史を刻んで参りました。現在は、県内唯一の専門学科を土台とした単独総合学科高校として、一学年三クラスで、農業・ビジネス・生活・福祉・文化の五つの系列を有し、多様な教育を展開しています。

本会報は、今号で「五十号」を迎えます。記念すべき会報として、改めて「総合学科」について記し

ます。

総合学科は、高等学校教育の一層の個性化・多様化を推進するための、普通科と専門学科に並ぶ第三の学科として平成六年度に設けられました。当初は全国七校でスタートし、現在は約三百六十校の設置校数となつています。本校は、平成七年度に総合学科として生まれ変わり、現在に至っています。

総合学科の最大の魅力は、一年次の「産業社会と人間」、二年次からの「総合的な学習の時間」、三年次の「課題研究」による、三

直、我が子でも思うようになりません。まして、人様の子を指導するということになると、一筋縄ではいかないところがあります。

私も体育会系の人間で、長い間高校野球の現場や連盟に係わってきました。その中で選手や保護者、時には高校野球ファンの方からも多くのことを学ばせていただきました。

思い込みかもしれませんが、若い人を育てる上で重要な点は、次のことが上げられると思います。一点目は、しっかりと褒めることができる。二点目はきちんと叱つてやることができる。このふたつのバランスを、欠くことなく接することがポイントになると考えてい

年間をつなぐ充実したキャリア教育です。また、少人数指導、体験的学習、地域連携の点では、学ぶ子どもたちにとって明らかにメリットがあります。生徒個々の、そして学校独自の魅力化を最も推進しやすい環境にあるのも、総合学科だと確信しています。

私は、総合学科におけるキャリア教育の目的は、特定の職業についての専門的知識・技能を習得させることではなく、これからの社会を自分らしく生き抜くための力を身に付けさせることだと考えています。また、総合学科は、企業が求める人材を育成することを目的とするのではなく、共生・協働による社会を自ら創造しようとする人材を育成する学科であると考

ます。もちろん、褒める時も叱る時も愛情と信頼の気持ちは忘れないことです。

卒業を控えた三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これからは、今までより少し厳しい時間が多くなると思います。それぞれ進む道は分かれても、会社や進学先において、人との繋がりを大切にできる、強く優しい人間になつてください。

最後になりますが、今後とも引き続き松風会の皆様の温かいご支援をお願いして、ご挨拶いたします。

以上のような考えに至ったとき、改めて「教育は人なり」という言葉を思い浮かべました。教職員が総合学科に勤務しているという自覚とプライドを持ち、様々な場面で人生や生き方を生徒に語る。そして生徒と共に学び続けるという意識を持つこと。このことが、総合学科としての教育、そして総合学科で学ぶ子どもたちの成長の鍵になると、改めて感じています。

今後とも、総合学科である本校独自の魅力ある教育活動に邁進する所存です。予測不能な社会を生き抜き、自分を生かす人生を歩んでいく若者たちのため、皆様方の変わらぬご支援をお願い申し上げます。挨拶といたします。

# 松風会50年の歩み

会報「松風」の発刊が記念すべき第50号を迎えました。半世紀にわたる「松風会」の歴史を遼摩高等学校史から抜粋し会員の皆様にご紹介します。

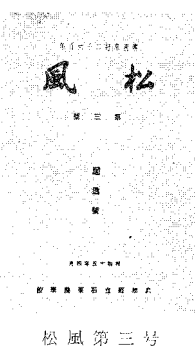
大正二年（一九一三）夏、三代校長青滝普善が郡立農学校の同窓会設立を提唱した。これが今日の「松風会」の第一歩である。設立総会には二十余名（長見正真、松原源二郎、坂根教二郎、勝部信義他）が集まり、名称を「島根県遼摩郡立農学校卒業生会」として発足した。初代会長は青滝校長が務め、松原が副会長、勝部が幹事に就任。年一回の総会を継続的に開催した。その後、校地移転、学制変更、郡制廃止から県立移管に至るまで奔走を続け、島根県立仁万農学校改称までの道筋を作ったと記録されている。

大正十一年（一九二二）に新谷徳鳳、十二年に坂根教二郎、十三年には福岡為義ら卒業生が職員として赴任し、同窓会事務局を担当すると、大正十五年（一九二六）には「卒業生名簿」が創刊された。名簿には名誉会員（旧職員）五四名、会員四〇五名・在校生八六名（遼摩郡立農学校と島根県立仁万農学校卒業生）が掲載された。

その後、戦後までの卒業生会関係の記録と資料が途絶えているが、学校史から関係していると思われる部分に掲載してみる。

昭和十五年（一九四〇）四月、「松風」第三号が発刊された。サブタイトルは奉祝紀元二千六百年であり、躍進をめざす島根県立石東農学校の実践記録集であった。百七十八ペー

ジの雑誌で、農業の研究紹介にとどまらず、全校三百余名の生徒のひと



松風 第三号

りひとりの短歌や、抱負、小作品や行事の記録も紹介されており、編集水準も高い。当時の根建森熙校長兼卒業生会長）の特別ななほからいにより、時間、労力、費用の心配をすることなく専念できたようである。具体的な内容は、学校史（七十周年記念時編集 遼摩高等学校史）に掲載されている。また、坂本實（昭和十八卒、農林甲二期）の日記には「昭和十五年十月二十四日 松風会解散式、新しい松風報国団結成」と記録されている。興味深い記録である。

昭和二十二年（一九四七）七月、石田耕校長（兼卒業生会長）の手により五年ぶりに「松風」が復刊された。戦後最悪の食糧事情、インフレ下の労働争議、農地解放をめぐる利害争い、学園紛争（ストライキ）などにより、教育理念・価値観・秩序が崩れさつていた時代からの再建の具体化として復刊された。同年十一月の創立四十五周年記念行事計画を中心に、新制高校昇格への設備充実、紛争解決後の校友会活動（現在の部活

動）の活発な様子が紹介されている。

その後の学制改革により昭和二十四年（一九四九）に島根県立遼摩高等学校松風会と改称された。これまでの会長は校長が務めていたが、この年から卒業生が会長を務めることとなる。初代会長（昭和二十四年・昭和四十五年）は、松原源二郎（昭和二物故（久利町）。次に二代会長（昭和四十六年・昭和五十八年）、和田徹夫（昭和二物故（宅野町）。更に三代会長（昭和五十九年・平成九年）林年之（昭和二物故（大國町）、四代会長（平成十年・平成十九年）原勝正（仁万町）と引き継がれ、現在の五代会長（平成二十年）大島淳に至っている。

史をしつかりと刻み込むかのように、今日も穏やかな景色を見せてくれている。松風会とともに歩み続けてきた「仁心の庭」は、仁万の海に連なる日本海の荒磯と、古代から数々の伝説をもつ宅野の韓島、麦島を主景に「仁」の文字を表徴し、園路はタイルと芝生を敷いて「心」の文字としている。タイトルには日本海の波を想像させる図模様が刻み込まれ、今後益々荒波にもまれながら新しい伝統を作りだして欲しいという願いが込められている。

学校史によると、松風会の活動は昭和四十一年（一九六六）春の第三十八回選抜高校野球の頃が頂点と記録されているが、その後、難波利三氏による三回の記念講演、田中公道氏による三回のテノール独奏（創立百周年を含む）、佐藤明義氏による講演、田中一昭氏による講演などが、昭和五十八年（一九八三）以降の学校行事や記念行事の中で企画されるように働きかけを行っている。新築された校舎（昭和五十六年）の中央にある「仁心の庭」は、これらの歴

松風会は関東支部・関西支部・県内に支部を持ち、卒業生と母校のコミュニケーションを同窓会員名簿の定期発行により図っているが、県外支部の運営については卒業生自体の都会地への就職数減少により代替わりという点では難しい運営を強いられている状況である。そこで、平成十五年の創立百周年を契機に、会員の皆様から年会費という形で資金応援を募り、会報「松風」の発行費に充てるとともに、県外支部育成費という項目で支出している。



造園設計施工・庭園管理  
植木生産販売・庭園材料販売

## 金 藤 緑 化 園

代表 金 藤 繁 行（昭和46年卒）

金 藤 高 明（平成17年卒）

〒694-0013 大田市川合町吉永 電話・Fax(0854)82-4119

有限会社

Marine Electronics  
**CHUWA**  
Shimane Japan

こん す  
**中和電機公司**

代表取締役 原 勝 正（昭和38年普卒）

仁摩本店 大田市仁摩町仁万1798-23

浜 田 店 浜田市原井町908-15-102



# 新たな時代に向けた「新たな邇摩高フェア」への挑戦



地元企業のブース出店協力



販わう農業系列ブース



心を込めた対面販売

平成27年度からスタートした邇摩高フェア。年3回(春・夏・冬)実施してきたが、5つの系列全てで「フェア販売」という色が強くなり、系列の学びの集大成としては正しいのか?といった議論が昨年度からなされてきた。一方、地域の皆様の憩いの場・楽しみの場としての確立された側面もあり、大きな改革は難しいのでは?という意見もあった。また、模範株式会社ファイブスターカンパニーの組織的な問題点も浮上し、生徒主体の邇摩高フェアとはなっていないという課題もあった。

そこで、昨年度は夏のフェアを取りやめ春・冬の2回実施とし、生徒主体のフェアを目指して3回にわたるファイブスターカンパニー生徒企画会議で内容を審議した。5つの系列の特色が伝わる企画内容を立案・実施することで、今までのお祭りの要素が少し排除され、本来目指していた学習成果の発表の場へと近づいた感じがする。

総司会者



フェア会場内



ウィンターフェアのポスター

## 「ICT技術を活用した新しい学び」

ビジネス系列主任 高下 克己

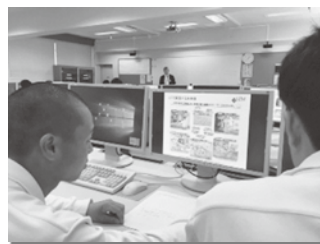
島根県や大田市はICT関連企業の誘致を積極的に推し進めています。2018年4月には東京に本社を置く「株式会社 アズム」が大田市へ進出、2019年4月からは「株式会社 エイム・ソフト」が事業開始を予定しています。

本校ビジネス系列では、ビジネスの最前線である企業を講師役として前期に「ICT関連企業の現状」・「これからの情報通信技術と社会」という内容で6時間の講義を受け、生徒とともにディスカッションを実施しました。後期は、2014年度から島根県商工労働部情報産業振興室が県内商業高校の情報処理科対象に実施している「ICT人材育成事業」に、「ビジネス系列」を擁する邇摩高校が参加させていただくことになりました。

今年度は、コンピュータ言語や活用技術に関する学びではなく、仕事で必要な心構えや基本技術の他に、

- ① 地域や身の回りの課題を見つけ、誰の課題であるかを理解し、その課題が発生する本質的な原因を特定する課題発見力
- ② 課題が発生する本質的な原因の解決方法を企画、提案する課題解決力
- ③ 課題と解決方法の説明を通じて、その価値を相手に伝える力(「言語化する力」)説明力を身につけるべく、浜田市のICT企業「株式会社 eFront 島根支社」ならびに東京の「Lean Startup Japan」和波俊久先生を講師としてお招きし、特別授業を3回10時間にわたり展開しました。

ICT人材の育成は、ICT関連企業だけではなく島根県内全ての企業で必要とされています。本校ビジネス系列でのICTの学びによって、ICT関連企業から本校への要請が高まり、地域連携・地域課題解決の一助となることや、ひいては本校総合学科の魅力UPにつながることを期待しながら授業展開を進めます。



土地・建物・管理・仲介・査定  
島根県知事免許(7)第805号

# 永野不動産

代表 永野雅博(昭和43年普通科卒)  
宅地建物取引士  
賃貸不動産経営管理士

〒694-0031 大田市静間町1038-1  
TEL 0854-84-7700  
FAX 0854-84-8681

永野不動産

検索

## イワタニ島根株式会社

会長 石本 智章(昭和37年卒)  
代表取締役社長 小林 実

本社:大田市長久町長久口253-1  
大田支店:大田市長久町長久口253-1  
大田LPCセンター:大田市静間町1053  
仁摩営業所:大田市仁摩町仁万532-1  
浜田支店:浜田市熱田町1456-1  
浜田LPCセンター:浜田市下府町327-142  
江津支店:江津市渡津町978-8  
大田LPCセンター:大田市金城町七条イ659-8  
益田支店:益田市あけぼの東町10-1  
津和野営業所:鹿足郡津和野町後口33



## 全国総文祭

## 「私達の軌跡」

石見神楽部3年

佐々木 二葉

私たち石見神楽部は8月7日から5日間、長野県で開催された全国高等学校総合文化祭・郷土芸能部門に出場しました。

そこで石見神楽の始まりと言われる演目「岩戸」を舞わせていただきました。石見神楽部は創部間もない部活動ですが、顧問の先生のご指導のもと、部員全員が一丸となって岩戸を練習しました。私たちは島根県の代表として、また石見神楽の魅力为全国の方々に伝えるといった思いを持って参加しました。

まず、全国高等学校総合文化祭に出場するには1月に開催される郷土芸能の集いで優秀賞を獲らないといけません。

「岩戸」は舞や囃子が難しいです。そのため冬休みを活用し、「岩戸」を猛練習しました。その甲斐あって優秀賞を獲得することができました。本当に努力の大切さを学びました。

次に私たちは、全国高等学校総合文化祭で立派な舞ができるように、休日や放課後を活用して練習をしました。暇さえあれば岩戸のDVDを見たりもしました。夏休みに入ると更に練習し、他の部活動と兼部している生徒も石見神楽を優先してくれました。本番が近づくとつれ、緊張感がどんどん高まってきました。

本番ではとても大きなホールにたくさんの方々がいられてかなり緊張しました。しかし時間が経つにつれ、だんだんと緊張もほぐれました。喜びの舞では全員で息の合った歌を歌いながら舞い、とても楽しく演舞できました。そして今までで一番立派な舞が出来ました。本当に大きな舞台に立てたことは良い経験になったと思います。

また全国高等学校総合文化祭の出場に際し、たくさんの方々からご支援していただきました。その方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからも頑張っていきたいと思っています。本当に有難うございました。



## 全国高校総体

## 「13年間の集大成」

松原 淳帆

松風会のみならず、三重県津市のサオリナで開催されたインターハイ出場の際には、激励金や応援のお言葉、大変ありがとうございました。

私は5歳の頃から13年間柔道をしてきました。小学生の時は入賞できるほどは強くなかったのですが、遼摩高卒の鳥羽先生など少年教室の先生方には、私が楽しく柔道ができるように工夫して下さいました。中学生になると、先生や先輩方、仲間などいろいろな方々に支えられ、強くなることができ、少しずつ結果が出てきました。

高校生になってからは柔道を続けるつもりはなかったのですが、顧問の矢富先生に誘っていただき、続けることにしました。とは言え、もともと続ける気がなかったもので、体力も筋力も感覚さえも失いかけていました。そんな私を一から教えて下さり、インターハイまで連れていって下さった先生や、一緒に頑張ってきた仲間、ずっと見守ってくれた保護者の方々に、いつも応援してくれてきた方々、柔道を通して関わってきた多くの方々に支えられ、インターハイに出場することができました。



インターハイでは、初戦は山形代表の朽木選手と戦い、前に出て戦うことができた一方、なかなか投げることができず、試合終了間近になって、技のポイントを奪うことができた。二回戦では福岡代表

が昨年度優勝者との試合となりました。しかし、あつけない負けしてしまいました。終わったときに、私はこれまで強くしようと色々なところに連れて行って下さった先生や、ずっと支えてくれたパートナー、一緒に頑張ってきた仲間や見守って下さっていた保護者の方々にどんな顔をして合えば良いのか分かりませんでした。正直、悔しさの残る試合になっていました。

しかし、13年間の柔道人生の中で、たくさんの仲間や先生に巡り会えることができ、そのみんなと頑張ってきたことが、終わりの瞬間に思い出されました。

4月からは島根県警察官として働きます。この13年間柔道で培ってきたことや遼摩高校で学んだ多くの経験を生かし、少しでもみなさまに恩返しできるように頑張りたいと思います。応援して下さい。ありがとうございました。



## 農業クラブ全国大会

## ★農業鑑定競技会参加★

3年2組 田中 りゅう

学校代表として全国大会に参加できると決まったときは、素直に嬉しかったです。大会当日はとても緊張しましたが、いままでの学習成果が発揮できたのではないかと思います。後輩へのメッセージとしては、本気で全国大会で日本一を目指すのであれば、先生に教えてもらっただけではなく、自分でも積極的に調べてノートに記入するなど取り組むとよいと思います。ぜひ、頑張ってください！

## ★クラブ員代表者会議★

3年2組 坂根 亜美

今回の討議テーマに「解決のために各都道府県連盟やブロック連盟が協力してできること」

## 農業クラブ全国大会鹿児島大会を経験して

というフレーズがありました。全国大会に参加をして、私は「大きな協力の輪」が必要であると強く感じました。単位クラブだけで頑張ると、どうしても限界が出てくると思います。そこで、まずは県内の農業高校同士の協力の輪、次に中国ブロック内での協力の輪、そして全国農業クラブ員の協力の輪とつながることで農業課題の解決へ一歩でも近づくように、クラブ員同士の絆を深めるのではないかと思います。ただ、これを実現するためには多くの課題もあると思います。私も、全国大会の成果を学校の農業クラブ員にしっかりと伝え、引き継ぎ「協力の輪を広げる活動」を今後積極的にしてきたいと思います。



借家の畳から 書院・茶室の最高級畳まで  
畳のことなら何でもご相談下さい あらゆるニーズにお応じます

島根県畳組合会員  
島根県畳製作技能士会員

**岡田畳店**

岡田 三史 (S52商業科卒)

〒694-0051 大田市久手町波根西2088-3

TEL & FAX 0854(82)8504

⑨ 有限会社 **小川商店**

石油・運送・食品スーパー・不動産・飲食(路庵)

昭和40年度卒業生 **小川 良知**

温泉津町 (有)小川商店 代表取締役

Tel 0855-65-2636(代)



写真で見る  
邇摩高生

体育祭

猛暑を吹き飛ばす300人の若いパワー



入学式



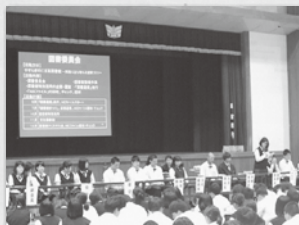
1年生遠足 アクアス



2年生遠足 安佐動物園



花時計の植え替え



生徒総会



津波対応の避難訓練



産業社会と人間



オープンスクールで系列説明



仁万保育園との交流



校内球技大会はクラスマッチの場



球技大会



ファイブスターカンパニー役員



駐車場は第2グラウンド



文化祭ファッションショー



企業とのトークセッション



社会保険労務士法人  
**田平労務管理事務所**  
TABIRA Personal Management Office

代表社員(所長) 田平 篤 (S58商業科卒)

社員(会長) 田平 律夫

〒694-0064 大田市大田町大田イ164-4

TEL(0854)82-5850・FAX(0854)82-5851

E-mail: info@tabiraroumu.jp http://www.tabiraroumu.jp/

POLA

POLA エステ in リブ(おおだ店)

美しいお肌のために充実のオールハンドエステ  
『肌・こころ・からだ』トータルケアのPOLA

ショップオーナー 市川 日登美  
(昭和54年卒)

大田市大田町イ660-13  
ハタノビル205  
TEL 0854(82)1106





島根日々新聞 掲載



会場全体の様子

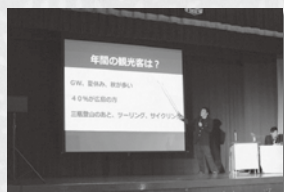
## 「通摩高校学習成果発表会」

通摩高校の強み「3年間をつなぐキャリア教育推進」を紹介

通摩高校では一体どんな学習が行われているのか？総合学科の通摩高校の良さとは何なのか？という根本的な疑問をお持ちの皆様も多いと思う。そこで通摩高校の大きな特徴である「3年間をつなぐキャリア教育」を紹介する。普通高校でも専門高校でもない総合学科高校の強みは、1年次の「産業社会と人間」を入口とし2年次・3年次で展開される「総合的

な学習の時間」へと繋げ、3年間を通して人としての成長が目に見える形で示せることだ。本校では、1年次に「地域の方に自分のやりたいこと(WILL)」を伝える取組を行い、2年次に広く職業観・勤労観を鍛えながら進路実現への模索を行い、3年次に自分の進路や系列での学びを踏まえた上で課題を設定・解決に向かつてのチャレンジを行う。自ら一本のレールを敷き、目標到達に向かって困難なことも乗り越えていく3年間の学びは、生徒自身を大きく成長させると共に他校には真似の出来ない教育である。

「通摩高校学習成果発表会」は生徒全員がこの仕組みの中で学習していることを再認識するとともに、通摩高校総合学科を地域へアピールし、更に生徒自身の自信にも繋げるという狙いがある。

1年次「産業社会と人間」の発表 (1チーム3名)  
～自分のやりたいこと「WILL」を発表～2年次「進路設計」の発表 (1チーム6名)  
～インターンシップでの学びを発表～3年次「課題研究」の発表 (9チーム28名)  
～系列に沿った問題解決型学習成果発表～

## 優秀研究 島根県総合学科発表会へ出場

### 地元経済活性化

～通摩高ビジネス系列から新しい商品を～

ビジネス系列の6名は「大田のことを広めたい・地元経済の活性化に貢献したい」という思いから、石見地方では認知度の高い「箱寿司」に着目。オリジナル箱寿司を考案したら起爆剤になるのでは？という発想で1年間取り組んできました。チームの取組を31枚のスライドにまとめ、10分間の持ち時間を効果的に使いながら聴衆にプレゼンしました。堂々とした発表でした。全ては記載できませんが、ポイントとなるスライドを紹介します。

#### テーマ設定の理由

- ・地元大田のことを広める
- ・地元地域の活性化に貢献できるかも
- ・商品開発から販売までの流れを自分たちでも実践したい

大田の郷土料理である箱寿司、仁摩町のシンボルキャラクターの等音ちゃん、大田の名産品(箱寿司)。

箱土料理 × 等音ちゃん × 大田の名産品(箱寿司)

地元の良さをさらに知ってもらえ！！

#### Q3. 箱寿司を食べたことはありますか？



#### アンケート結果

- ・箱寿司を知っている人は多い
  - ・食べたことがある人は少ない
  - ・学校の授業や家庭から教えてもらう人が多かった
  - ・お祭りや特別な日でないとき食べていない
- 与箱寿司は地元に住む私たちにとって身近でない

#### 仮説

今どきの若い人は、元来の箱寿司ではあまり興味を持たず口にしない機会も少ない。

若い人に興味を持ってもらえるオリジナルの箱寿司を作ればよいのではないかな。

#### まとめ

- ・商品化はできなかった。
- ・パッケージや具体的なオリジナルの箱寿司について考え試作までは作ることができた。
- ・販路では分らなかった商品開発から販売までの大変さが分かった。

#### 課題研究を通して

- ・箱寿司の由来や作り方、おいしさに触れることができた。
- ・農業系列のものも使えるのではないかな？
- ・お客様のニーズに応える商品を考えることで学んできたことの応用ができた。

#### 見た目・パッケージイメージ



#### ① カレー箱寿司

- ・美味しかった
- ・酢飯と合う
- ・課題
- ・大田の名産品が入っているわけではない
- ・酢飯カレーはもともとあるから差別性に欠ける



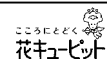
支部総会 ご案内

関東支部 総会

平成31年 6月16日(日) 12時開会

霞が関ビル35階(東海大学校友会館)

東京都千代田区霞が関3-2-5



有限会社 福花園

FLOWER SHOP

FLOWER BOUTIQUE

Fukkaoen

福花園

La Fille

ラ・フィユ

〒694-0064 大田市大田町イ259(大田駅前)

Phone(0854)82-6613

F a x(0854)82-7184

〒693-0004 出雲市波橋町334-1

Phone(0853)24-0087

F a x(0853)24-0089

代表取締役 福間 君枝(昭和54年卒)



## 支部だより

## 関東支部だより

## 卒業して五十二年

## ●宮本 博美

昭和42年 普通科卒業



私の家から学校まで徒歩で約十分位です。三年間通いました。卒業後は大阪で就職し、二人の姉と三人でアパートで暮らしていました。四十四年の秋、田舎の両親が転職で東京。私は四十五年一月の転勤で東京となりました。東京都の中心、国分寺市。新宿から中央特快で二十分の所です。

結婚するまでは松風会の事は全く知りませんでした。結婚で名古屋に行き五年間で東京へ転勤。上尾へ住み、五十七年四月に再び両親のいる国分寺へ越して四十年間、私の人生の半分以上が国分寺での生活です。

三十五、六十の頃から松風会の案内が来るようになりました。まだ子供が小さかった事もあり、そのうち高校一年の時担任だった西村先生が来られたら参加しますと言っていたら、その時が訪れました。青山のホテルが会場だったと思います。初めての参加です。西村先生とも再会してとてもうれしかったです。

平成二年春の選抜甲子園に、二十五年ぶり二度目の出場が決まりました。私は私生活で小学五年の長男の卒業式が終わるのを待って、急いで新幹線で大阪へ行きました。開会式が終わって第一試合だったと思います。子供は姉と一緒にいって甲子園球場へ行きました。スタンドで同級生



の谷本さんに会い感激しました。高校生活に戻ったようでした。先生、同級生の皆さんと一緒に撮った写真は今でも懐かしく拝見しています。初出場の時、私は新三年生として甲子園へ行っていました。その事も加わり今でも甲子園の高校野球は大好きです。今年は選抜高は出ないのかなというも待っています。

子供が中学、高校になった頃、私も何か自分のためにやりたいと思い、四十七才からフルートを習い始めました。長年の夢でした。音楽教室に通い一年間でやっとハ長調の音階で吹けるようになりました。その後、ヤマハの音楽教室に変わって個人レッスンで月二回、だんだん吹けるようになり、初めての発表会で「マイハートウィルゴーオン」を吹きました。その後何人もの先生に教わり発表会にもたくさん出ました。アンサンブル教室にも行き、みんなで一緒に吹く演奏も楽しかったです。

私は音楽と写真が大好きです。オーケストラ、ピアノ、ヴァイオリン、フルート、そしてオペラ、有名な方のコンサートにもたくさん行きます。心の中に思いたくさん入っています。心の中に思いたくさん入っています。宝物です。また、カメラを持って花や紅葉の写真もたくさん撮りました。このアルバムも宝物です。

七十才になった今、忘れないようにと時々フルートを吹いたりCDを聴いています。これからもまだ楽しい事があるでしょう。毎年のように松風会総会に参加して

## 関西支部だより

## 「京都の行く末」

## ●鷲尾 澄子

昭和43年3月 普通科卒業



今から十七、八年前のこと。

「このままでは、益々、京都が京都ではなくなってしまう。僕が再び来日した時この家だけは今のままに残っていてほしい。」

1人のドイツの言葉で主人の言葉で主人の頭の中のアンテナが稼働し始めました。



その当時は、京都駅周辺の開発に伴い、いわゆる京町家と呼ばれた古民家が軒を連ね、空地になり、いつの間にかあちこちに近代的なビルが建ち並び、少くも京都らしさが失われつつありました。発想の転換で早速私共が所有していた数軒の古民家を長期型レンタルから体験型のものに切り替えることにしたのでした。より多くの方々に京都の文化を肌で感じてもらう、暮らしながら旅を楽しむ、そんな思いで、暮らしながら旅をしながら京都らしいものに心を掛けました。旅館、ホテルではないこの形態を、外国ではコンドミニアムと云いますが、日本では珍しく、まして京都では一軒もありません。そして、町屋の保存に繋がるのではと考えました。中でも懐古庵は五軒が連なる連棟式長屋で、一歩足を踏み入れるとレンガ作りの五つのおくどき、つるべで汲み上げる井戸、夏、町内の



子供達が集うお地蔵さんが目に飛び込んできます。京都特有の潜り戸や格子の飾り窓、石畳と、数十年前まで五家族の住んでいたこの空間に身を置くと、どこからともなく子供達の笑い声や井戸端会議をしている住民の声が聞こえてきそう。近年、急速に民泊、ホテル経営が増え、あれよあれよと云う内に私共の地域でも古民家を次々に買収し、更地になったホテル建設予定地を其処彼処に目にするようになった。京都では、消えゆく町家を残そうと市をあげて「京町家の保全継承」と謳っています。オリコンビックや京都観光の集客を狙っているのか、ホテル建設を容認しているようにも思えます。さらに、追い討ちをかけるように昨年の六月に民泊法が発動され、色んな規制の絡みによって、路地裏での営業は大変厳しくなってきました。主人は八年前に他界。と一人で築き上げたものが足元から崩れ去って行くような危機感を抱え、諦めるか、屈することなく続けていくかの選択に迫られているところです。市中でも、色々な問題が浮き彫りになっています。

◎立ち食い小路と化した錦市場。

◎神聖な場であるベッキン社仏閣のあり方。

◎接待・娯楽のスポットでもあった、伝統を重んじる祇園も年々様変わりしつつある。

◎公共交通機関においても、あるルートはバスが市民が座れない状態。かたや、毎日ほぼ空っぽのバスが運行しているルート等々。

今、まさに「このままでは、京都が京都ではなくなってしまう。この現実が、目の前に差し迫っている様に思えてなりません。」

世界に誇れる京都を保つてゆくには、どうしたらいいか。訪れて本当に良かったと思ってもらえる町づくりを私達市民と行政の前向きな協力で成し得ることができたことに願います。

邇摩高校Facebook



<https://www.facebook.com/shimane.nimakou/>

邇摩高校WEBサイトと連動しており、記事をタップすると、邇摩高校WEBサイトの「お知らせ」に繋がります。緊急連絡も掲載しています。



支部総会 ご案内

関西支部 総会

平成31年 6月1日(土) 11時受付開始

からすま京都ホテル

京都市下京区烏丸通四条下ル

## 松風会総会・親睦会

2月2日(土)、平成31年度松風会総会・親睦会が、約80名の会員が集い大田パストラルにて行われました。清水克典大田市副市長様を御来賓として迎え、大島淳松風会会長の議事進行により提出議題はスムーズに承認されました。

メインとなる親睦会は平成6年3月卒の大幹事団により進められ田中増次前江津市長様の乾杯で開宴。アトラクションとして演舞した邇摩高校石見神楽部の「天神」の舞に対しては、来場卒業生から大きな声援と御花の嵐となり会場が大いに盛り上がりました。次期幹事団の紹介、エール、校歌斉唱と続き、ラストは原勝正前松風会会長様による万歳三唱で締めくくられました。

在学時代の思い出話、孫・曾孫の話などで会話は盛り上がり、パーティー会場はとても賑やかで、大きな笑い声があちらこちらでわき上がる楽しい会となりました。



総会の様子



乾杯 田中前江津市長様



校歌斉唱 エールと恒例となった大島会長の破れ太鼓



万歳三唱 原前会長様



アトラクションは石見神楽部の「天神」



幹事団と盛り上がる会場

## 平成30年度 松風会年会費会計 決算書

(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

## I. 収入の部

(単位: 円)

| 科 目 | 本年度予算額(A) | 決算額(B)    | 増減(B-A)   | 備 考                     |
|-----|-----------|-----------|-----------|-------------------------|
| 繰越金 | 2,593,088 | 2,593,088 | 0         | 平成29年度より繰り越し            |
| 会費  | 858,000   | 674,000   | △ 184,000 | 年会費2,000円×337件、納入率62.9% |
| 広告費 | 50,000    | 40,000    | △ 10,000  | 会報広告料                   |
| 計   | 3,501,088 | 3,307,088 | △ 194,000 |                         |

## II. 支出の部

(単位: 円)

| 科 目   | 本年度予算額(A) | 決算額(B)  | 予算残額(A-B) | 備 考          |
|-------|-----------|---------|-----------|--------------|
| 会報発行費 | 372,000   | 269,919 | 102,081   | 会報松風49号、535部 |
| 振込手数料 | 50,436    | 39,120  | 11,316    | 貯金局会費振込手数料   |
| 繰出金   | 360,000   | 360,000 | 0         | 松風会一般会計へ     |
| 予備費   | 2,718,652 | 0       | 2,718,652 |              |
| 計     | 3,501,088 | 669,039 | 2,832,049 |              |

収入合計 3,307,088 - 支出合計 669,039 = 残高 2,638,049

平成30年度 松風会年会費会計について監査を実施した結果、帳簿及び証拠書類とも適正に処理されていることを認め報告します。

平成31年1月8日

松風会監査

松風会監査

塩毛利生  
白坪正道

## 平成30年度 松風会一般会計 決算書

(平成30年1月1日～12月31日)

## I. 収入の部

(単位: 円)

| 科 目    | 本年度予算額(A) | 決算額(B)  | 増減(B-A)  | 備 考             |
|--------|-----------|---------|----------|-----------------|
| 繰越金    | 5,356     | 5,356   | 0        | 平成29年度より繰り越し    |
| 入会金    | 240,000   | 240,000 | 0        | ¥3,000×80名      |
| 会費     | 16,000    | 16,000  | 0        | ¥200×80名        |
| 寄付金    | 10,000    | 0       | △ 10,000 |                 |
| 他会計繰入金 | 360,000   | 360,000 | 0        | 松風会年会費会計より繰り入れ  |
| 雑収入    | 30,644    | 30,070  | △ 574    | パーティー券売上益、貯金利息他 |
| 収入合計   | 662,000   | 651,426 | △ 10,574 |                 |

## II. 支出の部

(単位: 円)

| 科 目     | 本年度予算額(A) | 決算額(B)  | 予算残額(A-B) | 備 考                      |
|---------|-----------|---------|-----------|--------------------------|
| 会議費     | 5,000     | 0       | 5,000     |                          |
| 旅費      | 200,000   | 190,730 | 9,270     | 関東支部総会(2名)、関西支部総会(2名)    |
| 支部育成費   | 110,000   | 110,000 | 0         | 関東、関西、大田、仁摩、温泉津、江津、松江へ助成 |
| 事務費     | 70,000    | 50,640  | 19,360    | 卒業記念品、高校野球広告料、支部総会送料他郵送料 |
| 会館管理補助費 | 70,000    | 70,000  | 0         | 松風会館維持管理会計へ              |
| 全国大会激励費 | 160,000   | 190,000 | △ 30,000  | 文芸部、柔道部、石見神楽部、農業クラブ      |
| 予備費     | 47,000    | 3,650   | 43,350    | 森田(旧副会長)氏、弔電料金           |
| 支出合計    | 662,000   | 615,020 | 46,980    |                          |

収入合計 651,426円 - 支出合計 615,020円 = 差引残額 36,406円(平成31年度一般会計へ繰り越し)

平成30年度 松風会一般会計について監査を実施した結果、帳簿及び証拠書類とも適正に処理されていることを認め報告します。

平成31年1月8日

松風会監査委員

松風会監査委員

塩毛利生  
白坪正道

## 平成31年度 松風会一般会計 予算

(平成31年1月1日～12月31日)

## I. 収入の部

(単位: 円)

| 科 目    | 本年度予算額(A) | 前年度予算額(B) | 増減(A-B)   | 備 考            |
|--------|-----------|-----------|-----------|----------------|
| 繰越金    | 36,406    | 5,356     | 31,050    | 平成30年度より繰り越し   |
| 入会金    | 336,000   | 240,000   | 96,000    | ¥3,000×112名    |
| 会費     | 22,400    | 16,000    | 6,400     | ¥200×112名      |
| 寄付金    | 10,000    | 10,000    | 0         |                |
| 他会計繰入金 | 200,000   | 360,000   | △ 160,000 | 松風会年会費会計より繰り入れ |
| 雑収入    | 30,194    | 30,644    | △ 450     | パーティー券売上益、貯金利息 |
| 合計     | 635,000   | 662,000   | △ 27,000  |                |

## II. 支出の部

(単位: 円)

| 科 目     | 本年度予算額(A) | 前年度予算額(B) | 増減(A-B)  | 備 考                      |
|---------|-----------|-----------|----------|--------------------------|
| 会議費     | 5,000     | 5,000     | 0        | お茶代                      |
| 旅費      | 200,000   | 200,000   | 0        | 関東支部総会(2名)、関西支部総会(2名)    |
| 支部育成費   | 150,000   | 110,000   | 40,000   | 関東、関西、大田、仁摩、温泉津、江津、松江へ助成 |
| 事務費     | 70,000    | 70,000    | 0        | 卒業記念品、高校野球広告料、通信費他       |
| 会館管理補助費 | 70,000    | 70,000    | 0        | 松風会館維持管理会計へ              |
| 全国大会激励費 | 100,000   | 160,000   | △ 60,000 | 農業クラブ他                   |
| 予備費     | 40,000    | 47,000    | △ 7,000  |                          |
| 合計      | 635,000   | 662,000   | △ 27,000 |                          |

事務局からの  
連絡

会報松風は、邇摩高校ホームページでもご覧いただけます。  
年会費の納入に御協力ください。

<http://www.nima.ed.jp/>